

# 特別講演会

## ～養育支援訪問事業の意義(仮)～

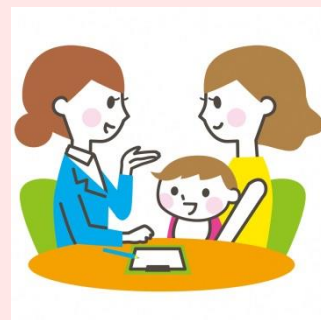
近年、核家族化の進行や地域のつながりの希薄化を背景に、子育てにおける孤立感や負担感が増大しているといわれています。そのような中、各市町村には、養育支援訪問事業などの各種家庭訪問事業を通して、妊娠、子育ての不安を抱える家庭や、様々な事情により地域社会から孤立しがちな家庭に対し、これまで以上に積極的にアウトリーチ支援を実施することが求められています。

本講演会では、長年ソーシャルワーカーとして子どもやその親に寄り添い、子どもが安心して暮らせる社会の実現に向けて取り組まれてきた寺出壽美子先生を県外からお招きし、養育支援訪問事業の意義についてご講演いただく予定です。豊富なご経験に基づいたお話しが聞けるまたとない機会ですので、皆様ぜひご参加ください！

- 1 日 時 令和元年7月31日(水) 9:00受付 9:25~12:00
- 2 場 所 (公社) 沖縄県小児保健協会3階ホール  
(南風原町新川218-11 / TEL: 098-963-8462)
- 3 対象者 各市町村の母子保健・児童福祉・子育て支援担当課関係職員、  
家庭訪問に関わる支援者のみなさま
- 4 申込方法 要・事前申込  
裏面に記入のうえ、下記問い合わせまでメール又はFAXにてお願いします。

※ 講師 <sup>てらで</sup>寺出 <sup>すみこ</sup>壽美子氏 (NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会理事長)

【プロフィール】(日本子どもソーシャルワーク協会HPより抜粋)  
ソーシャルワーカー NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会理事長  
日本子ども虐待防止学会会員  
東京都子供・若者支援協議会代表者会議委員  
世田谷区子ども・若者支援協議会代表者会議委員  
前東京都次世代育成支援行動計画懇談会委員  
前東邦大学薬学部非常勤講師  
前児童養護施設施設長  
元府中市と新宿区の子ども家庭支援センタースーパーバイザー



1970年、慶應義塾大学文学部社会心理教育学科卒業  
高校の教員、子どもの本屋店長、不登校児童も含めた学習塾代表等を歴任。  
虐待、いじめ、不登校・ひきこもり、家庭内暴力、薬物、少年事件、嗜癖、摂食障がいなど、多岐にわたる子どもとその親への面接相談や、支援に関わっている。不登校・ひきこもり等の子ども・若者への「ユースワーカー」派遣や子ども・親を支える「ケアワーカー」派遣、少年事件の少年への支援を担当。社会福祉士。

お問い合わせ先：公益社団法人沖縄県小児保健協会（担当：屋比久、棚原、照屋）

TEL：098-963-8462 FAX：098-963-4402

MAIL：kodomo@osh.or.jp HP：http://www.osh.or.jp/

# FAX送信票

(FAX 098-963-4402 このままご送信ください)

公益社団法人 沖縄県小児保健協会 屋比久 宛

令和元年度 家庭訪問支援員等児童相談業務担当者研修講座

## 参加申込書 (特別研修のみ参加者)

市町村及び 所属名 :	
送信者 :	
電 話 :	

	ふりがな 氏 名	職 種	連絡先及び備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

<<申込締切日：令和元年7月12日(金)>>

### 【注意】

- ※ 定員に達し次第、予告なく締め切らせていただきます。  
詳しくは沖縄県小児保健協会ホームページ (<http://www.osh.or.jp/>) をご確認ください。
- ※ メールでのお申し込みの方は 氏名・所属・職種・ご連絡先を明記の上、  
kodomom(アットマーク)osh.or.jp へご連絡ください。